

開講年次・時期	2年前期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	演習	単位数	1単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NK230	科目名	社会的養護Ⅱ	担当者名	最上 和幸
授業の概要	1年で学習した社会的養護からさらに知識を深め、社会的養護方法(実践)などの内容について理解し、さらに演習によって深めていく。				
科目の到達目標	①信頼関係の構築を意識した要支援児童への関わり方について学ぶ。 ②演習を通して、コミュニケーション技能の必要性を理解する。 ③ニーズの把握、意思伝達において、客観的な視点をもって対応できる力を養う。				
DPの観点	⑦思考力(50%) ⑧実践力(25%) ⑩問題解決力(25%)				
授業時間外学修(予習・復習)	事前に演習課題を配布するので、目を通し、自分なりの考えをまとめておくことが望ましい(1時間程度)				
フィードバックの方法	リアクションペーパーに質問事項を記入してもらい、次の授業で詳しくフィードバックする。				
単位認定の要件	課題作成、レポート作成と、授業の理解度及び学習意欲(リアクションペーパー)を単位認定の要件とする。				
評価の方法・割合(%)	課題作成(20%)、レポート作成(20%)、リアクションペーパー(60%)				
履修上の注意事項	テキスト・配付資料は毎回持参してください。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			社会的養護における子どもの権利擁護について理解し、その基本的な考え方やあり方について学ぶ。	⑦⑧	リアクションペーパー
2			社会的養護におけるソーシャルワークの意味と、知識・技術とその応用について学ぶ。	⑦⑧	リアクションペーパー
3			乳児院、児童養護施設、母子生活支援施設について、それぞれの施設の支援の対象や特性などを確認する。	⑦⑧	リアクションペーパー
4			児童心理治療施設、児童自立支援施設、障害児施設について、それぞれの施設の支援の対象や特性などを確認する。	⑦⑧	リアクションペーパー
5			社会的養護にかかわる相談援助の知識・技術とその実践について理解する。	⑦⑧	リアクションペーパー
6			社会的養護における子どもの理解を深める。	⑦⑧	リアクションペーパー
7			家庭養護の生活特性及び実際について理解する。	⑦⑧	リアクションペーパー
8			記録と自己評価、保育の専門性にかかわる知識・技術とその実践について学ぶ。	⑦⑧	リアクションペーパー
9			アセスメントと個別支援計画の概要を理解する。	⑦⑧	リアクションペーパー
10			アセスメントと個別支援計画の概要を理解する。	⑦⑧⑩	課題作成
11			社会的養護における日常生活支援について理解する。	⑦⑧	リアクションペーパー
12			社会的養護における心理的支援について理解する。	⑦⑧	リアクションペーパー
13			社会的養護における自立支援について理解する。	⑦⑧	リアクションペーパー
14			社会的養護における家庭支援について理解する。	⑦⑧	リアクションペーパー
15			(まとめ)社会的養護の課題と展望について理解する。	⑦⑧⑩	レポート作成
期末試験					

使用テキスト	『新基本保育シリーズ社会的養護Ⅱ』第18巻(中央法規出版)
参考文献 参考URL	事例で学ぶ「社会的養護のアセスメント」増沢高(明石書店) 対人援助職のための「ジェノグラム入門」早樫一男(中央法規)
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--